

2024年度 日臨技 臨床検査精度管理調査 「試薬・測定法分類コード説明書」

I. 臨床化学

(Glu,TB,DB,Na,K,Cl,Ca,IP,Fe,Mg,TP,Alb,UN,Cre,UA,TC,TG,HDLC,
LDLC,AST,ALT,ALP,LD,CK,GGT,AMY,ChE,uGlu,uCre,HbA1c:NGSP値,
CRP,IgG,IgA,IgM)

II. 免疫血清 (梅毒TP抗体, PSA, リウマトイド因子)

III. 血液 (プロトロンビン時間, 活性化部分トロンボプラスチン時間, フィブリゲン量)

試料送付と回答票返送期限

試料発送日 : 6月 4日 (火)
回答期限 : 6月21日 (金) 午後 6時

本説明書は「2024年度日臨技臨床検査精度管理調査 手引書」の補助用として作成いたしました

積水メディカル株式会社
カスタマーサポートセンター

I. 臨床化学検査

グルコース mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 ピュアオートS GLU	01 ヘキシナーゼ法	-	-	363 积水メディカル
363002 ピュアオートS GLU-R	01 ヘキシナーゼ法	-	-	363 积水メディカル
363004 オートセラス GLU	01 ヘキシナーゼ法	-	-	363 积水メディカル
363006 クオリジェント GLU	01 ヘキシナーゼ法	-	-	363 积水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
11 溶媒ベース水溶性標準液	363001 アナセラム GLU標準液	ピュアオートS GLU ピュアオートS GLU-R オートセラス GLU クオリジェント GLU	5 水溶液で粘度調整なし	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363002 血清マルチキャリブレーター (SEKISUI)		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST : National Institute of Standards and Technology
2	ReCCS : 検査医学標準物質機構
8	企業の標準品
9	その他

総ビリルビン mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
526007 ユニメディ「T-BIL-LQ」	01 酵素法	-	-	526 ニプロ

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
21 血清ベース標準液	363002 ビリルビン標準液	ユニメディ「T-BIL-LQ」	3 ウシアルブミンをベース	1 NIST	526 ニプロ	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST : National Institute of Standards and Technology
8	企業の標準品
9	その他

直接ビリルビン mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
526006 ユニメディ「D-BIL-LQ」	01 酵素法	-	-	526 ニプロ

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
21 血清ベース標準液	363001 ビリルビン標準液	ユニメディ「D-BIL-LQ」	3 ウシアルブミンをベース	1 NIST	526 ニプロ	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
8	企業の標準品
9	その他

Na、K、C l mmol/L

機器コード	測定装置名	企業名
B B C 5 2 0	积水メディカル EV 8 0 0	日立ハイテクノロジーズ、积水メディカル

* 日立の自動分析装置に付属している電解質ユニットでは電解質専用のコードが設けられています。

試薬

試薬	測定方法	電解質測定原理	電解質検体希釈	方法	試薬製造販売元
日立 I S E 装置 内部標準液 希釈液 等	日立ハイテクノロジーズ 電極を使用している分析機	2 電極法	1 希釈法	01 イオン選択電極法 希釈法	363 积水メディカル

標準液

検量	標準液名称
21 血清ベース標準液	ISE CRS-N (积水メディカル製造・ReCCS認証)
21 血清ベース標準液	日立ISEキャリブレータ (アルブミン添加)

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST : National Institute of Standards and Technology
2	ReCCS : 検査医学標準物質機構
8	企業の標準品
9	その他

CA mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 クリニイト CA	01 オクトクレゾールフタレイン比色法	-	-	363 積水メディカル
363002 オートセラ CA	01 オクトクレゾールフタレイン比色法	-	-	363 積水メディカル
363003 PTS用オートセラ CA	01 オクトクレゾールフタレイン比色法	-	-	363 積水メディカル
363004 クオリジェント CA	01 オクトクレゾールフタレイン比色法	-	-	363 積水メディカル
326003 アキュラスオート Ca II	21 酵素法	-	-	326 株式会社シノテスト

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
11 溶媒ベース水溶性標準液	363001 アナセラムCA標準液	クリニイト CA オートセラ CA PTS用オートセラ CA クオリジェント CA	5 水溶液で粘度調整なし	1 NIST	363 積水メディカル	363 積水メディカル
31 管理血清等（表示値）	363002 セロノルム・ヒューマン		1 血清をベース	1 NIST	363 積水メディカル	363 積水メディカル
21 血清ベース標準液	363003 セロノルム・マルチキャリプレート		1 血清をベース	1 NIST	363 積水メディカル	363 積水メディカル
21 血清ベース標準液	363004 血清マルチキャリプレーター (SEKISUI)		1 血清をベース	1 NIST	363 積水メディカル	363 積水メディカル
21 血清ベース標準液	363005 血清マルチキャリプレーター (SEKISUI)	アキュラスオート Ca II	1 血清をベース	2 ReCCS ※	363 積水メディカル	363 積水メディカル
21 血清ベース標準液	363006 セロノルム・マルチキャリプレート		1 血清をベース	2 ReCCS ※	363 積水メディカル	363 積水メディカル
31 管理血清等（表示値）	363007 セロノルム・ヒューマン		1 血清をベース	2 ReCCS ※	363 積水メディカル	363 積水メディカル

※校正用標準物質JCCRM321-8での設定値をご使用の場合
※校正用標準物質JCCRM321-10での設定値をご使用の場合

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリプレートを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST：National Institute of Standards and Technology
2	ReCCS：検査医学標準物質機構
4	IRMM：Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards
7	CERI：化学物質評価研究機構
8	企業の標準品
9	その他

無機リン mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 クリニイト IP-2	12 モリブデン・ブルー法	-	-	363 積水メディカル
363004 クオリジェント IP	12 モリブデン・ブルー法	-	-	363 積水メディカル
363005 ピュアオートS IP	01 酵素法	-	-	363 積水メディカル
363006 クオリジェント IP-N	01 酵素法	-	-	363 積水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
11 溶媒ベース水溶性標準液	363001 アナセラム IP標準液	クリニイト IP-2 クオリジェント IP	5 水溶液で粘度調整なし	1 NIST	363 積水メディカル	363 積水メディカル
21 血清ベース標準液	363002 セロノルム・マルチキャリプレート	クリニイト IP-2 クオリジェント IP	1 血清をベース	1 NIST	363 積水メディカル	363 積水メディカル
21 血清ベース標準液	363003 血清マルチキャリプレーター (SEKISUI)	ピュアオートS IP クオリジェント IP-N	1 血清をベース	1 NIST	363 積水メディカル	363 積水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリプレートを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST：National Institute of Standards and Technology
2	ReCCS：検査医学標準物質機構
7	CERI：化学物質評価研究機構
8	企業の標準品
9	その他

鉄 ug/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363002 ピュアオートS FE	01 Nitroso-PSAP法	-	-	363 积水メディカル
363003 クオリジェント FE	01 Nitroso-PSAP法	-	-	363 积水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
21 血清ベース標準液	363002 セロノルム・マルチキャリブプレート	ピュアオートS FE クオリジェント FE	1 血清をベース	7 CERI	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363003 血清マルチキャリブプレート (SEKISUI)		1 血清をベース	7 CERI	363 积水メディカル	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブプレートを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST：National Institute of Standards and Technology
2	ReCCS：検査医学標準物質機構
7	CERI：化学物質評価研究機構
8	企業の標準品
9	その他

マグネシウム mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 クリニメイト Mg	01 色素法	-	-	363 积水メディカル
363002 クオリジェント Mg	01 色素法	-	-	363 积水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
11 溶媒ベース水溶性標準液	363001 アナセラム MG標準液	クリニメイト MG クオリジェント MG	5 水溶液で粘度調整なし	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363002 セロノルム・マルチキャリブプレート		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363003 血清マルチキャリブプレート (SEKISUI)		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブプレートを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST：National Institute of Standards and Technology
2	ReCCS：検査医学標準物質機構
4	IRMM：Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards
7	CERI：化学物質評価研究機構
8	企業の標準品
9	その他

総蛋白 g/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 クリニメイト TP	01 ビュレット法	-	-	363 积水メディカル
363002 オートセラ TP	01 ビュレット法	-	-	363 积水メディカル
363003 クオリジェント TP	01 ビュレット法	-	-	363 积水メディカル
201003 ピュアオートS TP	01 ビュレット法	-	-	201 カインス
201004 クオリジェント TP-N	01 ビュレット法	-	-	201 カインス

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
21 血清ベース標準液	363001 アナセラム ALB・TP標準液	クリニメイト TP オートセラ TP クオリジェント TP	3 ウシアルブミンをベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
31 管理血清等（表示値）	363002 セロノルム・ヒューマン	クリニメイト TP オートセラ TP クオリジェント TP ピュアオートS TP クオリジェント TP-N	1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363003 セロノルム・マルチキャリブプレート		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363005 血清マルチキャリブプレート (SEKISUI)		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363004 総蛋白・アルブミン標準血清	ピュアオートS TP クオリジェント TP-N	1 血清をベース	1 NIST	201 株式会社カインス	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブプレートを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST：National Institute of Standards and Technology
8	企業の標準品
9	その他

アルブミンg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 クリニイト ALB	01 BCG法	-	-	363 积水メディカル
363002 オートセラ ALB	01 BCG法	-	-	363 积水メディカル
363006 ピュアオートS ALB-N	03 BCP改良法	-	-	363 积水メディカル
363007 クオリジェント ALB-N	03 BCP改良法	-	-	363 积水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
21 血清ベース標準液	363001 アナセラム ALB・TP標準液	クリニイト ALB オートセラ ALB	3 ウシアルブミンをベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
31 管理血清等（表示値）	363002 セロノルム・ヒューマン	クリニイト ALB オートセラ ALB	1 血清をベース	4 IRMM	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363003 セロノルム・マルチキャリブプレート	ピュアオートS ALB-N クオリジェント ALB-N	1 血清をベース	4 IRMM	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363005 血清マルチキャリブレーター (SEKISUI)	ピュアオートS ALB-N クオリジェント ALB-N	1 血清をベース	4 IRMM	363 积水メディカル	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST：National Institute of Standards and Technology
4	IRMM：Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards
8	企業の標準品
9	その他

尿酸mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 ピュアオートS UA	01 ウリカーゼ・ペルオキシダーゼ法	-	-	363 积水メディカル
363002 オートセラS UA	01 ウリカーゼ・ペルオキシダーゼ法	-	-	363 积水メディカル
363003 クオリジェント UA	01 ウリカーゼ・ペルオキシダーゼ法	-	-	363 积水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
11 溶媒ベース水溶性標準液	363001 アナセラム UA-E標準液	ピュアオートS UA オートセラS UA クオリジェント UA	5 水溶液で粘度調整なし	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
31 管理血清等（表示値）	363002 セロノルム・ヒューマン		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363003 セロノルム・マルチキャリブプレート		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363004 血清マルチキャリブレーター (SEKISUI)		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST：National Institute of Standards and Technology
2	ReCCS：検査医学標準物質機構
8	企業の標準品
9	その他

尿素窒素mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363005 ピュアオートS UN-N	01 アンモニア消去,回避法	1 ウレアーゼ・GLDH消去法	-	363 积水メディカル
363006 クオリジェント UN-N	01 アンモニア消去,回避法	1 ウレアーゼ・GLDH消去法	-	363 积水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
11 溶媒ベース水溶性標準液	363001 アナセラム UN標準液	ピュアオートS UN-N クオリジェント UN-N	5 水溶液で粘度調整なし	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
31 管理血清等（表示値）	363002 セロノルム・ヒューマン		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363003 セロノルム・マルチキャリブプレート		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363004 血清マルチキャリブレーター (SEKISUI)		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST：National Institute of Standards and Technology
2	ReCCS：検査医学標準物質機構
8	企業の標準品
9	その他

クレアチニン mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 ピュアオートS CRE-N	01 酵素法	-	-	363 積水メディカル
363002 ピュアオートS CRE-L	01 酵素法	-	-	363 積水メディカル
363003 クオリジェント CRE	01 酵素法	-	-	363 積水メディカル

標準液

	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
11 溶媒ベース水溶性標準液	363001 アナセラム CRE標準液	ピュアオートS CRE-N ピュアオートS CRE-L クオリジェント CRE	5 水溶液で粘度調整なし	1 NIST	363 積水メディカル	363 積水メディカル
21 血清ベース標準液	363002 ゼロノルム・マルチキャリブプレート		1 血清をベース	1 NIST	363 積水メディカル	363 積水メディカル
21 血清ベース標準液	363003 血清マルチキャリブレーター (SEKISUI)		1 血清をベース	1 NIST	363 積水メディカル	363 積水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブプレートを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST : National Institute of Standards and Technology
2	ReCCS : 検査医学標準物質機構
4	IRMM : Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards
8	企業の標準品
9	その他

総コレステロール mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 コレステスト CHO	01 コレステロール酸化酵素法	-	-	363 積水メディカル
363002 ピュアオートS CHO-N	01 コレステロール酸化酵素法	-	-	363 積水メディカル
363003 クオリジェント CHO	01 コレステロール酸化酵素法	-	-	363 積水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
21 血清ベース標準液	363001 コレステストNキャリブレーター	コレステスト CHO ピュアオートS CHO-N クオリジェント CHO	1 血清をベース	1 NIST	363 積水メディカル	363 積水メディカル
21 血清ベース標準液	363003 クオリジェントNキャリブレーター		1 血清をベース	1 NIST	363 積水メディカル	363 積水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブプレートを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST : National Institute of Standards and Technology
2	ReCCS : 検査医学標準物質機構
6	AIST : 独立行政法人産業技術総合研究所
8	企業の標準品
9	その他

中性脂肪 mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 コレステスト TG	01 酵素比色法	1 遊離グリセロール消去	-	363 積水メディカル
363002 ピュアオートS TG-N	01 酵素比色法	1 遊離グリセロール消去	-	363 積水メディカル
363003 オートセラS TG-N	01 酵素比色法	1 遊離グリセロール消去	-	363 積水メディカル
363004 クオリジェント TG	01 酵素比色法	1 遊離グリセロール消去	-	363 積水メディカル
363006 コレステストN TG	01 酵素比色法	2 遊離グリセロール未消去	-	363 積水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
21 JSCC/ReCCS基準 血清ベース標準液	363001 コレステストNキャリブレーター	コレステスト TG ピュアオートS TG-N オートセラS TG-N クオリジェント TG	1 血清をベース	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル
21 JSCC/ReCCS基準 血清ベース標準液	363003 クオリジェントNキャリブレーター		1 血清をベース	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル
21 JSCC/ReCCS基準 血清ベース標準液	363001 コレステストNキャリブレーター	コレステストN TG 入力値は問合せ下さい	1 血清をベース	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブプレートを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST : National Institute of Standards and Technology
2	ReCCS : 検査医学標準物質機構
8	企業の標準品
9	その他

HDL - コレステロール mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 コレステストN HDL	01 阻害による直接法	-	-	363 积水メディカル
363002 クオリジェント HDL	01 阻害による直接法	-	-	363 积水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
21 血清ベース標準液	363001 コレステストNキャリブレーター	コレステストN HDL クオリジェント HDL	1 血清をベース	2 ReCCS	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363002 クオリジェントNキャリブレーター		1 血清をベース	2 ReCCS	363 积水メディカル	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
2	ReCCS：検査医学標準物質機構
8	企業の標準品
9	その他

LDL - コレステロール mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 コレステスト LDL	01 直接法	-	-	363 积水メディカル
363002 クオリジェント LDL	01 直接法	-	-	363 积水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
21 血清ベース標準液	363001 コレステストNキャリブレーター	コレステスト LDL クオリジェント LDL	1 血清をベース	2 ReCCS	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363002 クオリジェントNキャリブレーター		1 血清をベース	2 ReCCS	363 积水メディカル	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
2	ReCCS：検査医学標準物質機構
8	企業の標準品
9	その他

CRP mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	抗体の動物種名	製造販売元
363002 ナビア CRP	02 ラテックス比濁法	1 汎用分析装置で測定	ERM-DA474	04 マウス	363 积水メディカル
363004 クオリジェント CRP	02 ラテックス比濁法	1 汎用分析装置で測定	ERM-DA474	04 マウス	363 积水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
21 血清ベース標準液	363001 ナビア用CRPキャリブレーター	ナビア CRP クオリジェント CRP	1 血清をベース	4 IRMM	363 积水メディカル	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
4	IRMM：Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards
8	企業の標準品
9	その他

免疫グロブリン（IgG・A・M） mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	抗体の動物種名	製造販売元
524001 N-アッセイ TIA IgG-SH ニットーボー	02 免疫比濁法（汎用機器）	-	4 ERM-DA470	01 ヤギ	524 ニットーボーメディカル
524001 N-アッセイ TIA IgA-SH ニットーボー	02 免疫比濁法（汎用機器）	-	4 ERM-DA470	01 ヤギ	524 ニットーボーメディカル
524001 N-アッセイ TIA IgM-SH ニットーボー	02 免疫比濁法（汎用機器）	-	4 ERM-DA470	01 ヤギ	524 ニットーボーメディカル

AST 37℃国際単位

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 ピュアオートS AST-L	01 JSCC法	-	-	363 積水メディカル
363006 クオリジェント AST-L	01 JSCC法	-	-	363 積水メディカル

標準液 J S C C標準化対応法試薬は検量用 E R M（酵素キャリブレータープラス「ダイト」）で校正して下さい。

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
61 酵素キャリブレーター	363001 酵素キャリブレータープラス「ダイト」	ピュアオートS AST-L クオリジェント AST-L	1 血清をベース	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST : National Institute of Standards and Technology
2	JCCLS(ReCCS) : 検査医学標準物質機構
4	IRMM : Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards
8	企業の標準品
9	その他

ALT 37℃国際単位

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 ピュアオートS ALT-L	01 JSCC法	-	-	363 積水メディカル
363006 クオリジェント ALT-L	01 JSCC法	-	-	363 積水メディカル

標準液 J S C C標準化対応法試薬は検量用 E R M（酵素キャリブレータープラス「ダイト」）で校正して下さい。

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
61 酵素キャリブレーター	363001 酵素キャリブレータープラス「ダイト」	ピュアオートS ALT-L クオリジェント ALT-L	1 血清をベース	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST : National Institute of Standards and Technology
2	JCCLS(ReCCS) : 検査医学標準物質機構
4	IRMM : Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards
8	企業の標準品
9	その他

ALP 37℃国際単位

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363008 ピュアオートS ALP-IFCC	02 IFCC法	2 AMP緩衝液	-	363 積水メディカル
363009 クオリジェント ALP-IFCC	02 IFCC法	2 AMP緩衝液	-	363 積水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
61 酵素キャリブレーター	363001 酵素キャリブレータープラス「ダイト」	ピュアオートS ALP-IFCC クオリジェント ALP-IFCC	1 血清をベース	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST : National Institute of Standards and Technology
2	JCCLS(ReCCS) : 検査医学標準物質機構
4	IRMM : Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards
8	企業の標準品
9	その他

LD 37℃国際単位

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363005 ピュアオートS LD-IFCC	02 IFCC法	1 L→P	-	363 積水メディカル
363006 クオリジェント LD-IFCC	02 IFCC法	1 L→P	-	363 積水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
61 酵素キャリブレーター	363001 酵素キャリブレータープラス「ダイト」	ピュアオートS LD-IFCC クオリジェント LD-IFCC	1 血清をベース	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST : National Institute of Standards and Technology
2	JCCLS(ReCCS) : 検査医学標準物質機構
4	IRMM : Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards
8	企業の標準品
9	その他

AMY 37℃国際単位

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001	01	22	-	363
ピュアオートS AMY-G2	JSCC法	Gal-G2-CNP	-	積水メディカル
363002	01	22	-	363
クオリジェント AMY-G2	JSCC法	Gal-G2-CNP	-	積水メディカル
363008	01	15	-	363
ピュアオートS AMY-G7	JSCC法	4,6エチリデン-G7-pNP	-	積水メディカル
363009	01	15	-	363
クオリジェント AMY-G7	JSCC法	4,6エチリデン-G7-pNP	-	積水メディカル

標準液 J S C C標準化対応法試薬は検量用 E R M（酵素キャリブレータープラス「グアイチ」）で校正して下さい。

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
61 酵素キャリブレータ	363001 酵素キャリブレータープラス 「グアイチ」	ピュアオートS AMY-G2 クオリジェント AMY-G2 ピュアオートS AMY-G7 クオリジェント AMY-G7	1 血清をベース	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
2	JCCLS(ReCCS)：検査医学標準物質機構
8	企業の標準品
9	その他

CK 37℃国際単位

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363002	01	-	-	363
ピュアオートS CK-L	JSCC法	-	-	積水メディカル
363005	01	-	-	363
クオリジェント CK-L	JSCC法	-	-	積水メディカル
326003	01	-	-	326
シグナスオート CK	JSCC法	-	-	株式会社 シンテスト

標準液 J S C C標準化対応法試薬は検量用 E R M（酵素キャリブレータープラス「グアイチ」）で校正して下さい。

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
61 酵素キャリブレータ	363001 酵素キャリブレータープラス 「グアイチ」	ピュアオートS CK-L クオリジェント CK-L シグナスオート CK	1 血清をベース	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST：National Institute of Standards and Technology
2	JCCLS(ReCCS)：検査医学標準物質機構
4	IRMM：Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards
8	企業の標準品
9	その他

GGT 37℃国際単位

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001	01	-	-	363
ピュアオートS γ-GT	JSCC法	-	-	積水メディカル
363002	01	-	-	363
クオリジェント γ-GT	JSCC法	-	-	積水メディカル
363007	01	-	-	363
クオリジェント GGT	JSCC法	-	-	積水メディカル

標準液 J S C C標準化対応法試薬は検量用 E R M（酵素キャリブレータープラス「グアイチ」）で校正して下さい。

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
61 酵素キャリブレータ	363001 酵素キャリブレータープラス 「グアイチ」	ピュアオートS γ-GT クオリジェント γ-GT クオリジェント GGT	1 血清をベース	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
2	JCCLS(ReCCS)：検査医学標準物質機構
4	IRMM：Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards
8	企業の標準品
9	その他

ChE（コリンエステラーゼ） 37℃国際単位

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363004	01	01	-	363
ピュアオートS CHE	JSCC法	p-ヒドロキシベンゾイルコリン	-	積水メディカル
363005	01	01	-	363
クオリジェント CHE	JSCC法	p-ヒドロキシベンゾイルコリン	-	積水メディカル
326001	01	01	-	326
クイックオートネオ Ch-E	JSCC法	p-ヒドロキシベンゾイルコリン	-	シンテスト

標準液 J S C C標準化対応法試薬は検量用 E R M（酵素キャリブレータープラス「グアイチ」）で校正して下さい。

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
61 酵素キャリブレータ	363001 酵素キャリブレータープラス 「グアイチ」	ピュアオートS CHE クオリジェント CHE クイックオートネオ Ch-E	1 血清をベース	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
2	JCCLS(ReCCS)：検査医学標準物質機構
8	企業の標準品
9	その他

尿グルコース mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 ピュアオートS GLU	01 HK法	-	-	363 积水メディカル
363002 ピュアオートS GLU-R	01 HK法	-	-	363 积水メディカル
363004 オートセラS GLU	01 HK法	-	-	363 积水メディカル
363006 クオリジェント GLU	01 HK法	-	-	363 积水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
11 溶媒ベース水溶性標準液	363001 アナセラム GLU標準液	ピュアオートS GLU ピュアオートS GLU-R オートセラS GLU クオリジェント GLU	5 水溶液で粘度調整なし	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363002 血清マルチキャリブレーター (SEKISUI)		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST：National Institute of Standards and Technology
2	ReCCS：検査医学標準物質機構
8	企業の標準品
9	その他

尿クレアチニン mg/dL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
363001 ピュアオートS CRE-N	01 酵素法	-	-	363 积水メディカル
363002 ピュアオートS CRE-L	01 酵素法	-	-	363 积水メディカル
363006 クオリジェント CRE	01 酵素法	-	-	363 积水メディカル

標準液

検量	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
11 溶媒ベース水溶性標準液	363001 アナセラム CRE標準液	ピュアオートS CRE-N ピュアオートS CRE-L クオリジェント CRE	5 水溶液で粘度調整なし	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363002 セロノルム・マルチキャリブレーター		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル
21 血清ベース標準液	363003 血清マルチキャリブレーター (SEKISUI)		1 血清をベース	1 NIST	363 积水メディカル	363 积水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0	実施せず
1	NIST：National Institute of Standards and Technology
2	ReCCS：検査医学標準物質機構
4	IRMM：Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards
8	企業の標準品
9	その他

試薬

測定原理	不安定分画の処理	試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	製造販売元
4 酵素法	3 その他	363002 ノルディアン HbA1c	03 酵素法	3 HPLC以外	-	363 積水メディカル
4 酵素法	3 その他	363007 (RE)ノルディアン HbA1c	03 酵素法	3 HPLC以外	-	363 積水メディカル
4 酵素法	3 その他	363003 Lタイプ ノルディアン HbA1c	03 酵素法	3 HPLC以外	-	363 積水メディカル

方法	標準液名称	試薬名称	基材	標準液上位標準	標準液表示値設定企業	標準液販売企業
54 JCCRM 411-4準拠	363001 ノルディアン HbA1c用 HbA1cキャリブレーター	ノルディアン HbA1c用 キャリブレーター	9 その他	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル
54 JCCRM 411-4準拠	363006 (RE)ノルディアン HbA1c用 HbA1cキャリブレーター	(RE)ノルディアン HbA1c用 キャリブレーター	9 その他	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル
54 JCCRM 411-4準拠	363003 Lタイプ HbA1cキャリブレーター	Lタイプ HbA1cキャリブレーター	9 その他	2 ReCCS	363 積水メディカル	363 積水メディカル

トレーサビリティ ※メーカー指定のキャリブレータを検体として測定した場合（打ち返し）【8 企業の標準品】を選択してください

0 実施せず	5 JDS：日本糖尿病学会
1 NIST：National Institute of Standards and Technology	8 企業の標準品
2 ReCCS：検査医学標準物質機構	9 その他
4 IRMM：Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards	

【ヘモグロビンA 1 c 測定用前処理試料の作製】

精度管理用試料（凍結乾燥品）を測定する際には下記の手順で試料の調整を行ってください

＜準備物＞

- 精度管理用試料（凍結乾燥品）
- 精度管理用試料専用希釈液（専用希釈液）・・・弊社DMRにお申し付けください
- 「ノルディアン H b A 1 c 用 H b A 1 c 前処理液」又は「Lタイプ H b A 1 c 前処理液」

＜調整方法＞

- 精度管理用試料（凍結乾燥品）を指定された手順で溶解します

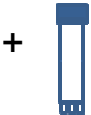


精度管理試料を精製水で溶解します

- 溶解した精度管理用試料0.1mLに専用希釈液0.1mLを添加混合します



精度管理試料
0.1mL



専用希釈液
0.1mL



HbA1c混合試料
0.2mL

・ノルディアン H b A 1 c、(RE) ノルディアン H b A 1 cをご使用の場合

【機種：日立、キヤノン、日本電子、ヘックマン ほか】

- (2)で混合したH b A 1 c 混合試料0.1mLに前処理液「ノルディアン H b A 1 c 用 H b A 1 c 前処理液」0.6mLを加えて攪拌しH b A 1 c 前処理試料とします（調製後速やかに測定するか、冷蔵し1時間以内に測定してください）



HbA1c混合試料
0.1mL



HbA1c前処理液
0.6mL



HbA1c前処理試料 → 分析装置にて測定

- EV800、日立7180オプション機能付では、コントロールポジション又は検体種別“その他”で依頼し測定します
- TBA-120FR系、Accute RX 400FR自動前処理機能付では、検体依頼画面にて“再検 1”または“再検 2”で依頼し測定します
- TBA-nx360では、オーダー画面にて項目選択しアッセイオプションにて希釈タイプ“HemB”で依頼し測定します
- ビオリス 30iでは、コントロールポジション又は検体種別“HbA1c(溶血)”で依頼し測定します

【機種：日本電子BM シリーズで自動前処理を行う装置】

- (2)で混合したH b A 1 c 混合試料0.1mLに前処理液「ノルディアン H b A 1 c 用 H b A 1 c 前処理液」0.4mLを加えて攪拌しH b A 1 c 前処理試料とします（調製後速やかに測定するか、冷蔵し1時間以内に測定してください）



HbA1c混合試料
0.1mL



HbA1c前処理液
0.4mL



HbA1c前処理試料 → 分析装置にて測定

- 作製したH b A 1 c 前処理試料を、コントロールポジションまたは溶血済みポジションで測定します

・Lタイプ ノルディアン H b A 1 cをご使用の場合

【機種：ラボスペクト 006/003/008/008a】

- (2)で混合したH b A 1 c 混合試料0.1mLに前処理液「Lタイプ H b A 1 c 前処理液」0.4mLを加えて攪拌しH b A 1 c 前処理試料とします（調製後速やかに測定するか、冷蔵し1時間以内に測定してください）



HbA1c混合試料
0.1mL



Lタイプ HbA1c
前処理液
0.4mL



HbA1c前処理試料 → 分析装置にて測定

- ラボスペクト 006 自動前処理機能付では、コントロールポジションまたは検体依頼画面にて検体種別“その他”で依頼し測定します

Ⅱ．免疫血清検査

リウマトイド因子（RF）IU/mL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	抗体の動物種名	製造販売元
524001 N-アッセイLA RF-Kニットーボー	06 ラテックス比濁法（汎用機器）	-	3 WHO	-	524 ニットーボーメディカル

P S A ng/mL

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	標準品由来	抗体の動物種名	製造販売元
363001 ナノピア PSA	06 ラテックス比濁法（汎用機器）	-	3 WHO	04 マウス	363 積水メディカル
363002 ナノピア PSA-N	07 ラテックス比ろう法	-	3 WHO	04 マウス	363 積水メディカル

梅毒 T P 抗体測定 T.U.

試薬

試薬名称	方法	方法小分類	定性定量区分	製造販売元
363001 メディエース TPLA	06 ラテックス比濁法（汎用機器）	-	2 定性と定量	363 積水メディカル

Ⅲ.血液検査（凝固部門） （コアプレスタ2000/CP3000/S400CF）

◇ 測定機器

測定装置	コード
コアプレスタ2000	KAR201
CP3000	KAR202
S400CF	KAR203

◇ プロトロンビン時間（PT試薬）

試薬

試薬名称	ISI区分	ISI値	血液試薬由来種	製造販売元
363001 コアグピア PT-N	下記参照	-	3 ウサギ	363 積水メディカル
363005 コアグピア PT-Liquid	下記参照	-	3 ウサギ	363 積水メディカル
323004 トロンボチェック PT	下記参照	-	3 ウサギ	323 シスメックス
323005 トロンボチェック PTプラス	下記参照	-	3 ウサギ	323 シスメックス

ISI区分（＊）	コード
メーカー設定	1
ローカルSI	2
設定なし	3
ISI値	〇〇〇

← キット表示のISI値を使用している施設用のコードです。

← AKキャリブラントを使用している施設用のコードです。

← メーカー設定を選択した場合は、キットに添付されているコアプレスタ2000、CP3000、S400CFのISI値を入力して下さい。

ローカルSIを選択した場合は、AKキャリブラントを用いて算出されたISI値を入力して下さい。

ローカルSI装置表示方法

・コアプレスタ2000での画面確認方法

拡張メニュー → 「項目の状態」をタッチ → 「項目選択」のPT（INR）欄をタッチ → INR検量線表示 → ISIローカル値を確認して下さい

・CP3000での画面確認方法

キャリブ → 画面左下の項目選択をタッチ → 「項目選択」のPT(INR)欄を選択 → 「INR検量線」をタッチしISIローカル値を確認して下さい

◇ 活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT試薬）

試薬

試薬名称	試薬活性化剤	製造販売元
363001 コアグピア APTT-N	1 エラグ酸（エラジン酸）	363 積水メディカル
323004 トロンボチェック APTT	1 エラグ酸（エラジン酸）	323 シスメックス
323005 トロンボチェック APTT（S）	1 エラグ酸（エラジン酸）	323 シスメックス

◇ フィブリノゲン量（Fbg試薬）

試薬

試薬名称	製造販売元
363001 コアグピア Fbg	363 積水メディカル
323002 トロンボチェック・Fib	323 シスメックス
323003 トロンボチェック・Fib（L）	323 シスメックス

標準液

標準液名称
904 コアグピア用キャリブレーターN(積水メディカル)
910 コアグトロールN(シスメックス)